



逆効果だったの!?



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

えっ！柔軟剤でタオルがゴワゴワに!?

ふわふわだったタオルが、洗濯を繰り返すうちにゴワゴワになってしまうことってありますよね。肌に直接触れるタオルは、いつまでもふんわりしてほしいもの。ふわふわをキープするための“タオル洗濯のポイント”をまとめてみました。ぜひ試してみてください。

◆石けん洗剤を使って洗う

タオルの原料である綿には、もともと脂分が含まれています。洗浄力の強い合成洗剤での洗濯を繰り返すと、繊維内の脂分が奪われてゴワゴワの原因に。石けん洗剤には天然のうるおい成分(グリセリン)が含まれているため、タオルの洗濯にはぴったり!粉末タイプでもよいですが、慣れていない人は使いやすい液体タイプがおすすめです。



◆たっぷりの水で洗う

少ない水で洗うと、タオルがこすれてパイルがつぶれます。こすれることで繊維の劣化が早まりゴワついてしまうので、水の中でタオルがゆったり泳ぐくらいの水量で洗うのがベストです。洗濯機で自動設定される水量は洗濯物の重さによって決まるため、軽くて吸水性の高いタオルを洗うには水量が不足しがち。手動設定で水量を増やすのがおすすめです。設定できない場合はタオルに水を含ませ重さを増やしてからスタートすると水量を増やすことができます。

◆柔軟剤は使わない

“ふわふわ=柔軟剤”というイメージが強いですが、実はタオルの洗濯には不向き。柔軟剤は、油膜で繊維をコーティングするものです。汚れが落ちきれない状態で繊維がコーティングされた場合、汚れやすすぎ切れな洗剤を繊維内に閉じ込めることに。毎日の少しずつの蓄積が、ゴワゴワの原因になっているかも。柔軟剤によるコーティングでタオルの吸水性も低下してしまうため、洗濯時に柔軟剤を入れるのであれば、タオルは分けて洗うのが望ましいです。

◆天日干しは短めに

紫外線に長時間さらされるとゴワゴワになってしまうため、天日干しする場合は早めに取り込みましょう。特に夏場はあっという間に乾くので、短時間で取り込めない場合は風通しの良い日陰に干すようにしましょう。

営業案内 (赤い日は休み)

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

※休みや営業時間は変更になることがあります

お急ぎの依頼は早めにご相談ください



Tシャツのニオイと黒ずみ解決方法は?



特にお子さんを育てている家庭の洗濯担当の方には、あるあるなお悩みではないでしょうか。速乾性のあるサラサラ系Tシャツやスポーツウェア、学校の体操着など、ポリエステル素材の衣類に起こりがちなトラブル。吸湿性が低いため濡れても乾きやすいというメリットがある一方で、汗を吸わないため蒸れてニオイがこもりやすいというデメリットもある素材です。長時間蒸れた状態が続くことで、雑菌が繁殖しやすい環境になっているかも?ポリエステルの汚れが落ちきれずに繊維に残留していることも。雑菌も汚れの残留も、どちらもニオイ原因になるものです。ニオイ対策として香り付きの柔軟剤を使う人も多いようですが、落ちきれなかった皮脂やタンパク質がコーティングされて繊維内に蓄積し、だんだん黒ずんでいってしまいます。ニオイや黒ずみの解決には、**酸素系漂白剤**がおすすめ。漂白効果の高まる 40~50℃くらいのお湯に漂白剤を溶かし、30分~1時間程度浸け置きしたあとに、軽くすすいでから洗濯をすると効果的です。 **!** 漂白剤使用の際は、洗濯表示タグの確認をお忘れなく!

ふわふわキープのためには、干し方にもポイントがあります。干す前にタオルの両端を持ち、勢いよく上下に振って空気を含ませ、パイルを立たせましょう。バスタオルなど大きなものは、途中で上下を持ち換えると全体にまんべんなく振ることができます。いくら振ってもふわふわにならない場合は、乾燥機の力を借りてみましょう。乾燥機はドラムを回しながら温風を送って乾かす仕組みなので、乾燥しながら空気を含み、ふんわりと仕上がります。コインランドリーの活用もおすすめ。乾燥しすぎると硬くなってしまいうため、乾燥時間に気をつけてください。